

<b>事業所名</b>	<b>グループホーム ともゆきの家</b> (クリックすると事業者の情報にリンクします)
<b>日付</b>	平成19年 3月30日
<b>評価機関名</b>	<b>㈱東京リーガルマインド</b> (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉士、2級、介護支援専門員 B:現職 障害者自立支援調査員 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>備前市郊外、JR伊里駅に近く、国道2号線にもアクセスしやすい場所にある。直ぐ近くには川が流れ、気候も温暖な田園地帯の中にあり、静かに落ち着いて暮らせる環境である。</p> <p>南に面して広いテラスがあり、開放的な雰囲気がある。外壁は枕木を効果的に使い、家の中にも温かみを感じられる。建物はペンション風で、周囲の田園にも自然な形でとけ込んでいる。</p> <p>入居者本人の自由意志・自主性を尊重しており、職員は入居者が散歩に出るとそとと後からついて行き、見守りながら安全を固めている。入居者・職員の表情は屈託が無く、明るく自然である。</p> <p>施設長は入居者の健康状態を詳細に把握しており、提携先の医療機関の医師としっかり連携している。入居者に変化・異状が見られる時には、直ちに連携医療機関に連絡し、指導を仰いで対処している。</p> <p>食事による入居者の健康維持には特に留意しており、食欲は健康のパロメーターとしている。料理に化学調味料は使用せず、調理担当の職員を置き、献立のみならず食器にもこだわりを持っている。食事は、四季折々の移り変わりを感じる内容で、彩りも良く盛り付けられている。</p> <p>代表者は、PTA等地域のリーダーとして社会参加活動を推進しており、介護のあり方についても開明的に取り組み、その熱意は職員にも伝わり、職員の行動にも意欲が感じられる。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>地域推進会議の開催を増やし、積極的に地域のネットワーク作りを行えば、当地域の福祉の推進拠点となって行くものと期待する。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者の家族との信頼関係を深め、「ともゆきの家」を安全で温もりのあるマイホームとなるよう、職員は同じ家族のようにお互いを支え合い、明るく楽しいホームとなるように目指している。</p> <p>代表者が運営のテーマとする「人としての尊厳」を根幹とし、認知症高齢者が専門的な介護を受ける申し分のない環境を整え、入居者の人格を尊重するケアを目指し努力している。</p> <p>入居者の外出を積極的に勧め、ホームに閉じこもらないようにして社会性を取り戻し、共同生活の中で自立してもらい、やがては自宅へ帰れるように支援している。</p> <p>入居者が地域住民の一員として社会生活が出来るよう、地域との連携を重要視し、地元行事等に積極的に参加して密接な関係を保ち、地域との信頼関係の構築を目指している。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような空間づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者の自主性を尊重し、起床・就寝・入浴等個人のペースで行えるよう支援している。外出も自由で、ストレスを蓄積せず、落ち着いて暮らせるように努めている。</p> <p>入居者とのコミュニケーションを重視し、一人にして孤独感を与えないように寄り添う介護を徹底し、精神的安定を図っている。</p> <p>安定したホーム生活を送ってもらうために健康保持を一番に考え、外出から帰った時には手洗い・うがいを励行している。また、乾燥防止、風邪予防に努め、感染症対策については職員の研修結果を直ちに活用している。</p> <p>四季の変化に沿って自然と触れ合い、季節ごとの行事を大切にしながら入居生活に変化と節目を付け、精神的に活性化を図り、潤いのあるホーム生活となるよう努力している。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人であることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者個々の経験・生活歴・家族状況、本人の趣味・趣向を十分に把握し、本人の意欲・自主性を考慮し、進んで作業・外出・趣味活動を行うように支援している。</p> <p>入居者の個人情報は事務室に責任を持って保管している。ボランティアの方についても、個人情報守秘義務の誓約書を取り、個人の記録の保全に取り組んでいる。</p> <p>居室に入る時にはノック・声かけをして許可を得るようにしており、入居者個人の尊厳に配慮するように心がけている。</p> <p>身体拘束はもちろん、発言の抑制等も一切しないという代表者の方針を徹底し、入居者のプライバシーと人格を守っている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<p>代表者はケアサービスの向上に熱心であり、職員には、介護研修や認知症教育講座等に積極的に参加して自らの介護技術のレベルアップに努めるように勧めている。研修内容は職員全員で共有するようにし、ホーム全体で介護サービスの向上に努力している。</p> <p>入居者がホームの外に出る機会を多くして地元の皆さんとのふれ合い、行事参加により地域に密着し、入居生活の精神的安定を図るようにしている。</p> <p>トラブル・苦情はサービスの改善の礎と見なし、意見箱を設置している。</p> <p>また、入居者・家族との意見交換の中から気持ちよく取り、潜在的問題の発見に努めている。それらを職員で検討・分析し、ケアサービスの向上に繋げている。</p> <p>ヒヤリハットも含めた事故報告書については、職員全体で因果関係等を検討して対策を考え、再発防止に努力している。</p>		